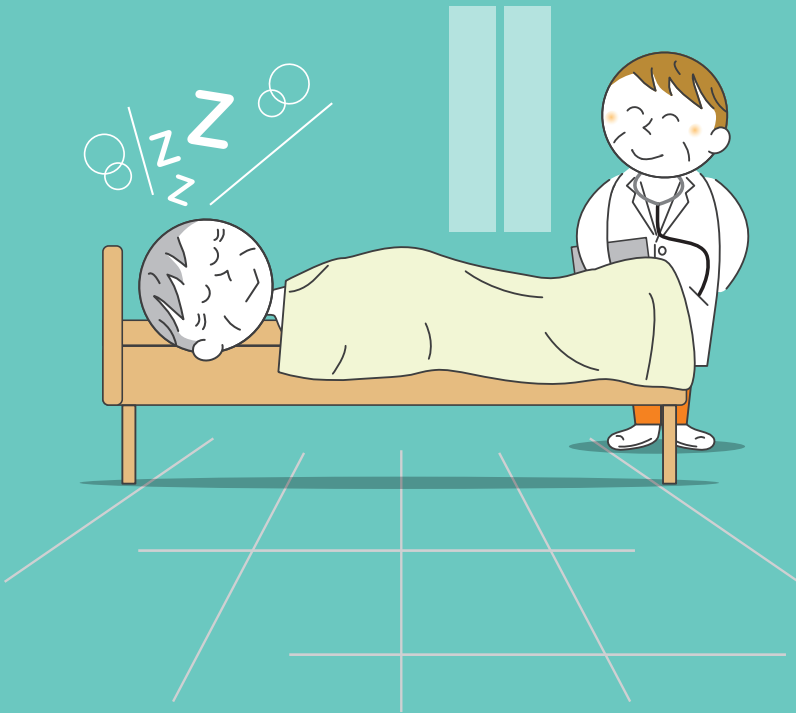


褥瘡ケアガイド



褥瘡とは...

私たちは眠っている時、無意識のうちに「寝返り」をうつことで体重が一定の場所に長時間かかるのを防いでいます。

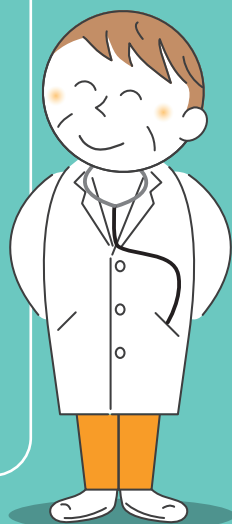
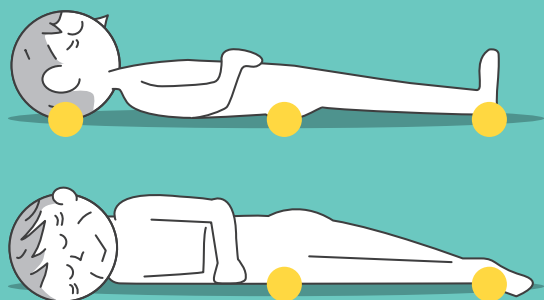
ところが自分で寝返りがうてないと、体の同じところに体重がかかったままになり、血液の流れが停止します。

この状態が長く続くと組織に血液が通わなくなり、組織が損傷してしまいます。これが、「褥瘡」です。

近年の福祉や医療の発展とともに、褥瘡は適切にケアすれば、予防や改善ができるようになりました。

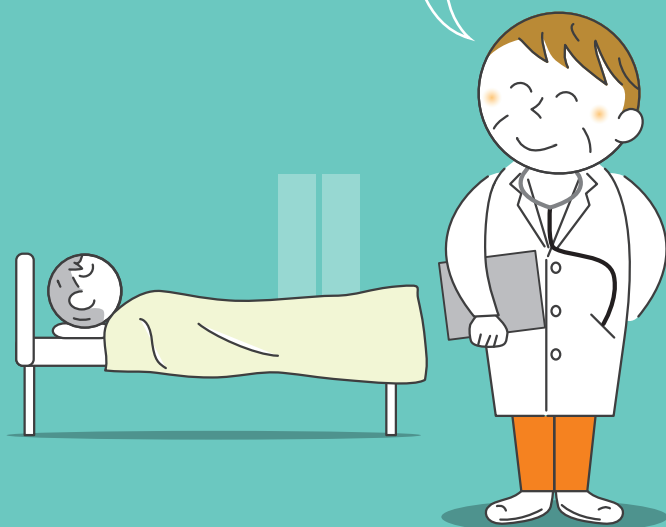
褥瘡に対する正しい知識を身に付け、療養中の患者さまとそのお世話をされる方が少しでも快適に毎日を過ごされるために、この「褥瘡ケアガイド」をお役立ていただければ幸いです。

褥瘡は、頭部・殿部・大転子部・踵部など体重のかかる部分に出来やすいのが特徴です。また、痩せていて骨が突出していたり、乾燥や浸軟（しんなん）している皮膚では、褥瘡になりやすいと言われています。



褥瘡予防・改善の ためのポイント

褥瘡の予防・改善には、薬剤だけでは
十分ではありません。体位変換・体圧
分散マットレスの使用・栄養・入浴・
スキンケア・会話などのトータルな援助
が必要です。



皮膚が乾燥している場合は保湿をしましょう

ドライスキン

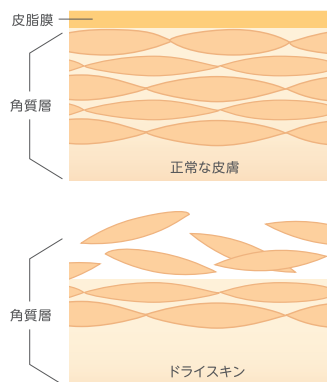
加齢に伴い皮脂の分泌や発汗が少なくなるため、皮膚の潤いがなくなります。

その結果、表皮は乾燥し、はがれやすくなるだけでなく、そこから有害な微生物が入り込むこともあります。また、かゆみが出て掻いてしまうため、小さな傷を作ることもあります。

弾力を失い、乾燥した皮膚はデリケートです。わずかな摩擦※₁やズレ※₂により皮膚も傷つきやすくなります。

※₁:摩擦(シーツなどによる皮膚のこすれ)

※₂:ズレ(皮膚がよれること)



予防のポイント

1. 乾燥予防に保湿剤を使いましょう

保湿剤(セキューラMLなど)は入浴後、肌がしっとりしているうちに塗るのが効果的です。

2. 熱いお湯と長湯をさけましょう

熱すぎるお湯や長湯により皮膚の表面の皮脂が失われてしまいます。

また、できるだけやわらかいタオルで洗うようにしましょう。

3. 室内の空気が乾燥しないようにしましょう

加湿器を使ったり洗濯物を室内に干すのもよいでしょう。また、電気毛布などは寝る時にスイッチを切りましょう。

全身用保湿ローション セキューラ ML

全身の皮膚を乾燥からまもる。

- 全身に使えるローションタイプ。
- のびがよくべたつかない。
- 塗布後にテープやフィルム材が貼れる。
- 無香料。



〈60mL〉

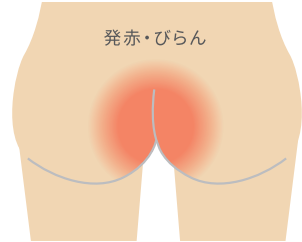
〈236mL〉

製品情報はP.33参照

尿や便などから皮膚を まもりましょう

下痢による皮膚の発赤・びらん

下痢便には消化酵素が多量に含まれており、この消化酵素はアルカリ性で皮膚を強く刺激するだけでなく、腸内細菌が多量に存在するので感染を起こす原因となります。



予防のポイント

1. 擦らないで洗う

お尻を洗う時は、弱酸性洗浄剤などを使用し、強く擦らないようにしましょう。

2. お尻を洗いすぎない

洗いすぎは、皮脂膜を除去してしまいます。

乾燥してかゆみが出ることもあるので、洗浄剤で洗いすぎないようにしましょう。

3. 撥水性クリームで皮膚を保護する

お尻を洗った後は、撥水性クリーム（セキュラPOなど）や油分の多い軟膏などで、皮膚を撥水保護しましょう。



撥水・保護

製品情報はP.33参照

セキュラ PO

- 撥水効果で、尿や便から皮膚を保護します。
- 保湿成分配合で、皮膚をなめらかにとのえます。
- 芳香成分で臭いを包み込みます。



〈159g〉 〈70g〉

保湿・保護

製品情報はP.33参照

セキュラ DC

- しっとり保湿ができるクリームタイプ。
- 撥水性があり、皮膚をまもります。
- おしりまわりのスキンケアだけでなく、手指や足にもご使用頂けます。
- 無香料・無着色。



〈114g〉

褥瘡の周囲皮膚を洗いましょう

褥瘡やその周囲の皮膚は、滲出液・汗・あか・排泄物などの汚れがたくさん付着しています。適切に洗浄し、これらの汚れを除去することは、創感染のリスクを少なくするとともに、治癒の促進につながります。

1日1回、または創傷被覆材（ドレッシング材）を交換する時に洗浄を行います。

👉 褥瘡のガイドラインでも創治癒促進のために、創周囲皮膚を弱酸性の洗浄剤で洗浄することを推奨しています。

洗浄の方法



コチラから
動画をご覧
になれます



1



低刺激性の弱酸性の洗浄剤などをよく泡立てます。

2



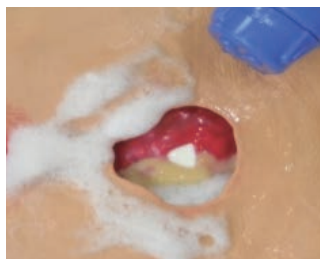
ドレッシング材やガーゼがあたっていた創周囲皮膚を、こすらず優しく泡で洗います。創の中は洗浄剤で洗いません。

3



皸裂部もしっかり洗浄します。
※皸裂部が汚れているとドレッシング材の浮きの原因になります。

4



38℃程度の微温湯を、洗浄容器に入れ、水流で洗い流します。※石鹼成分が残らないよう、たくさんの微温湯を使います。

5



創の中を生理食塩液や微温湯などで洗浄します。
※創から流出する洗浄液が透明になるまで流します。

6



創面と創周囲皮膚の水分を、やわらかいガーゼなどで拭き取ります。こすらず優しく押さえ拭きをします。

ポケットがある場合

ポケットがある方向を下にし、体位を変えながら洗浄します。
ご使用の洗浄容器で中まで洗浄できない場合は、ディスポの注射器やカテーテルを使用し、しっかり中まで洗浄します。



処置時間を短縮したい場合に泡立て不要の弱酸性洗浄剤

製品情報はP.33参照

セキューラ◇CL

- 皮膚と同じ弱酸性(pH5.2)。
- アロエ配合。
- 泡立て不要、片手で使えるスプレー式。
- すすぎが簡単。
(濡れティッシュなどで拭き取るだけで洗浄できる)

胃ろう周囲の皮膚の洗浄も
簡単に行えます。



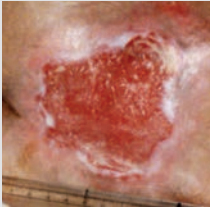
(236mL)

褥瘡処置について

褥瘡は、適切な処置によって治癒を促進することができます。適切な薬剤・被覆材の選択、患部の感染予防など、褥瘡に対する正しい知識を身に付け、ケアを行いましょう。



創傷の状態に 応じた薬剤・被覆材の選択

褥瘡の状態		目的	使用する薬剤・創傷被覆材・材料	保険の可否
クリティカル コナイズーション 感染創		●感染コントロール ●滲出液コントロール ●壊死組織の除去	カデックス [◇] 軟膏0.9% カデックス 軟膏分包45mg、153mg 	薬価基準収載
				
肉芽形成から表皮形成の時期	滲出液が多い 	●滲出液コントロール ●適切な湿潤環境の提供	 ハイドロサイト [◇] ライフ 標準型  ハイドロサイト ライフ 仙骨用  ハイドロサイト ライフ ヒール用  ハイドロサイト プラス  ハイドロサイト AD プラス  ハイドロサイト AD ジェントル  ハイドロサイト ジェントル 銀	特定保険医療材料（償還価格による）
	滲出液が少ない 			
癒痕／発赤		●保護	 (3m長) オプサイト [◇] クイックロール  (12m長) オプサイト クイックロール 2way  (5m長) オプサイト ジェントルロール (シリコン粘着剤)	保険対象外

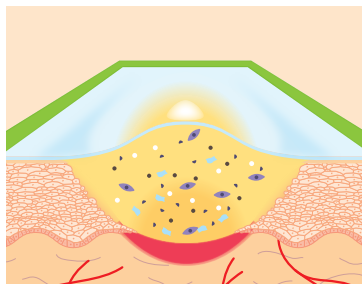
※1 写真提供：大阪府済生会吹田病院 間宮直子 皮膚・排泄ケア認定看護師

滲出液をコントロールして、 治癒に最適な創傷環境をつくる

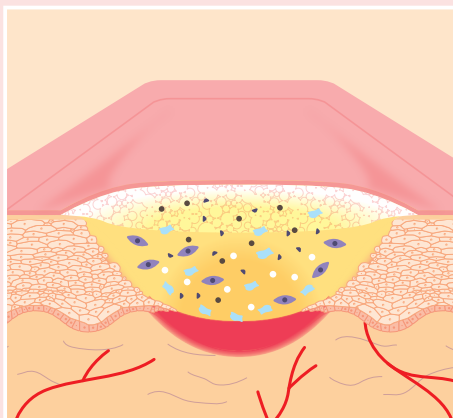


ウィンター博士

1962年、創傷は乾燥させるより湿潤にしたほうが早く上皮が再生されるというウィンター博士の研究により、「創傷は湿潤にして管理する」という考え方が一般的になりました。



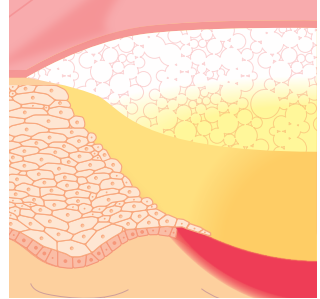
近年、慢性創傷など治りにくい創傷の滲出液には治癒を阻害する因子が多く含まれていることがわかってきました。これによって、滲出液をしっかりコントロールする創傷管理が行われるようになりました。



創傷被覆材は過剰な滲出液とともに細菌・壊死組織片・治癒阻害因子を吸収保持し、適切な湿潤を創面に保ちます。適切な湿潤環境が整った創傷は、治癒に必要な細胞成長因子などによって治癒が促進されます。

Q. どのような時期に創傷被覆材を使用するのがいいですか？

A. 壊死組織が除去され、感染リスクが少なくなってから使用します。
皮膚欠損部への肉芽組織の形成と上皮化が起こる時期がもっとも適した使用時期です。

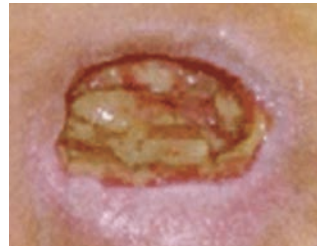


Q. 創傷被覆材を使用しないほうがいい時期はありますか？

A. 感染をしている場合や、感染の徴候がないにもかかわらず、適切な管理をしていても、創傷治癒が進まない場合（クリティカルコロナイゼーション）は、創傷被覆材の使用は中止します。
このような状態の時は、細菌の増殖により治癒が阻害されています。抗菌剤を使用し、創傷の細菌の数を減らします。



感染



クリティカルコロナイゼーション

感染創・壊死組織がある創の管理

褥瘡の状態



感染創



壊死組織のある創
(滲出液が多い)

【薬価基準収載】 褥瘡・皮膚潰瘍治療剤

カデキソマー・ヨウ素

カデックス[®] 軟膏0.9%

カデックス 軟膏分包45mg、153mg



軟膏40g、100g

目的

- 感染コントロール
- 滲出液コントロール
- 壊死組織の除去



軟膏分包45mg、153mg

用法・用量

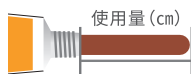
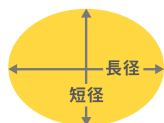
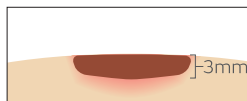
潰瘍面を清拭後、通常1日1回、患部に約3mmの厚さに塗布する

(直径4cmあたり3gを目安に塗布する)。

滲出液の量が多い場合は、1日2回塗布する。

カデックス軟膏使用量の簡易計算法(目安)

創の長径×短径を4で割った長さの軟膏を塗布すると
ほぼ3mmの厚さになります。



$$= \frac{\text{長径 (cm)} \times \text{短径 (cm)}}{4}$$

例：長径(3cm)×短径(2cm)
使用量 **1.5cm**

■使用指導上の注意

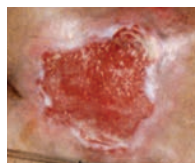
1. 薬剤交換時は、患部に残っている薬などを生理食塩液または水で洗い落としてください(ビーズ状のものが少々残っていても問題ありません)。
2. 患部がきれいになったら、清潔なヘラなどを使って患部に塗布し、ガーゼやメロリン[®]などの吸収パッドなどで覆ってください。
3. 塗布する場合は、健康皮膚にはみ出さないようにしてください(健康皮膚に付着すると、ヨウ素色に着色することがありますが、時間と共に褪色します)。
4. チューブの先端が患部に触れて、汚染されないように注意してください。
5. 使用後は、蓋を固く閉めてください(ねじ溝や蓋の内側に軟膏が付着したら、清潔なガーゼなどでふき取ってから蓋をしてください)。
6. 目には入れないでください。もし、間違っても目に入った場合は、直ちに水で洗い流してください。

※効能・効果・用法・用量・警告・禁忌を含む使用上の注意等については製品の添付文書をご参照ください。

肉芽形成期の管理

滲出液が多い場合は吸収力の高いドレッシング材で管理をします。

褥瘡の状態



肉芽形成から
表皮形成の時期
DESIGN-R®分類D3
(皮下組織に至る創傷)



滲出液の量:中等量～多量

目的

- 過剰な滲出液の吸収
- 適切な湿潤環境の提供

特定保険医療材料

親水性ポリウレタンフォームドレッシング

ハイドロサイト[®] ライフ



■特長

従来のハイドロサイト の1.6倍吸収力が高まりました。

ハイドロサイトは、ポリウレタンフォームにPEG（ポリエチレングリコール／高親水性ポリマー）を含有し、滲出液をすばやく吸収し、不織布超吸収パッドでしっかり保持します。さらに、トップフィルムに水蒸気透過性の高いIV3000を採用することにより、過剰な滲出液を蒸散することで、創傷治癒に適した湿潤環境を提供します。

また、マスキング層を追加することにより、滲出液が表面から目立ちにくだけでなく、外圧から創を保護します。

トップフィルム

水蒸気透過性の高い
IV3000を使用しており、
余分な滲出液を素早く蒸散

マスキング層

製品の上から滲出液が目立ち
にくいので不安を軽減

シリコングル粘着剤

皮膚にやさしく密着するので、
交換時の剥離刺激による疼痛や
スキントラブルを軽減

不織布超吸収パッド

吸収した滲出液をしっかりと
保持するので衛生面と
清潔面が向上

ポリウレタンフォーム

滲出液をすばやく吸収し、
創周囲皮膚の浸軟を予防

創接触面はシリコーンゲル

脆弱な皮膚の方にも二次損傷なく剥がすことができます。

すぐれたマスキング層



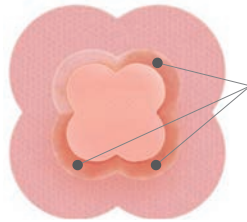
滲出液の状態を目立ちにくくするとともに、外圧から皮膚を保護する特殊構造。

交換の目安

不織布超吸収パッドから滲出液を観察します

ハイドロサイト[◇]ライフ表面の花びら2層目が不織布超吸収パッドです。
花びら3つつ汚染している場合は、新しいものと交換します。

① 花びらのどこまで染みえていますか？



ここが花びら2層目
(不織布超吸収パッド)

② 花びら3つつ分(全体の75%)に滲出液の染みが見えている場合は交換します。



交換時期

1枚あたりの貼付期間は、仙骨部に用いた場合は最大5日間、それ以外では最大7日間です。それぞれ5日目あるいは7日目には、汚染していなくてもドレッシング材を剥がし創部を観察してください。創と周囲皮膚を洗浄後、新しいドレッシング材を貼付してください。

ハイドロサイト[®]ライフの貼付方法

標準型



- ▶あらゆる部位に追従しやすい花びら型
- ▶角がなく、めくれにくいデザイン



仙骨用



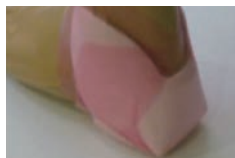
- ▶殿裂部分にしっかり追従するユニークなデザイン
- ▶密着を高めるため、テープの幅を広くとっています



ヒール用



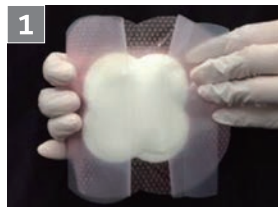
- ▶踵部と一緒に外果・内果も覆えるサイズ
- ▶クッション性があり、やさしく、しっかり包みこめます



ハイドロサイト ライフ (標準型)



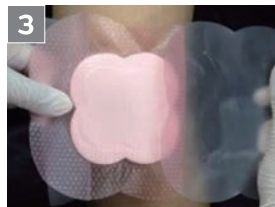
こちらから
動画をご覧
になります



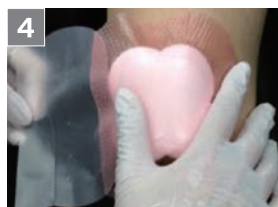
1 離ケイ紙を左右の手で持ってください。



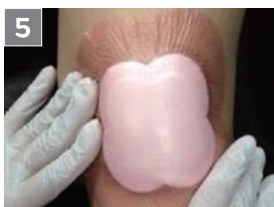
2 左右それぞれの離ケイ紙を途中で剥がし、パッドの中央と創の中央を合わせます。



3 片方の離ケイ紙を完全に剥がし、シリコーンテープを貼り付けます。



4 軽くパッドを押さえながら、もう片方の離ケイ紙を剥がします。



5 テープ部分を創周囲の皮膚になじませます。



6 貼付完了です。



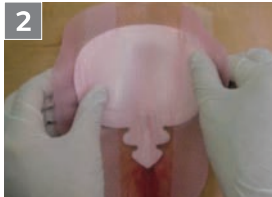
ハイドロサイト[◇]ライフ (仙骨用)



コチラから
動画をご覧
になれます



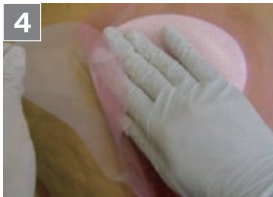
1 中央の離ケイ紙を剥がします。(剥がしても、持ち手となるフィルムが左右にありますので、手袋をしていても操作できます)



2 パッドの中央部から貼付します。殿裂部分はしっかり密着させるように貼付します。



3 左右どちらかの離ケイ紙を剥がし、皮膚に沿わせながら貼付します。



4 パッドをやさしく押さえながら、残りの離ケイ紙を剥がします。



5 全体を皮膚になじませ、貼付完了です。(シリコンテープにしわがある場合は、一度剥がして貼り直すことができます)

失禁時に剥がれにくくするための ワンポイント



コチラから
動画をご覧
になれます



▶ 殿裂部分をしっかり
密着させておくことが重要です。

- ① 創周囲皮膚洗浄時、殿裂部分もしっかり洗浄しておきます。
- ② ハイドロサイト ライフ貼付前に、セキュラ ノンアルコール被膜スプレー(皮膚被膜剤)を噴霧しておくこと、密着が高まります。

皮膚被膜剤 防水 ノンアルコール 速乾

セキュラ[◇]ノンアルコール 被膜スプレー

【販売名：ノンアルコール スキンプレップ スプレー】

広範囲でも素早くさっとスプレー

目詰まりしにくく、200プッシュ以上使用可能



製品情報は
P.33参照

〈28mL〉



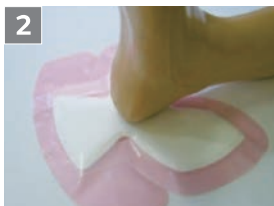
ハイドロサイト♦ライフ (ヒール用)



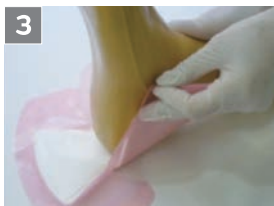
コチラから
動画をご覧
になれます



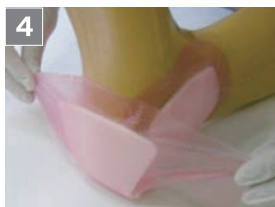
1 中央の離ケイ紙を剥がします。



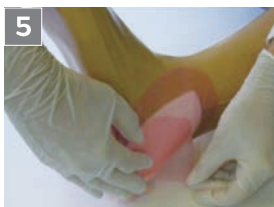
2 パッドの中央部に踵部を合わせます。



3 左右の離ケイ紙を剥がし、内果・外果部を覆います。



4 最後に踵部を包み込むように貼付します。



5 両サイドの固定テープをひっぱりすぎないように貼付します。



6 貼付完了です。シリコンテープのしわが多い部分は、一度剥がして貼り直すことが可能です。

ヒール用は、
踵部だけでなく内果や
外果もしっかり覆える
サイズとデザインです。



足底に創傷がある場合・足底を保護したい場合



貼付位置をずらすこと
によって、足底全体を
覆うことも可能です。

※モデルはサイズが大きいため、
一般的なサイズであれば足底
全体を覆えます。

感染リスクの高い創の管理

褥瘡の状態



滲出液の量: 中等量～多量

肉芽形成期から
表皮形成の時期
DESIGN-R®分類D3
(皮下組織に至る創傷)

特定保険医療材料
親水性ポリウレタンフォームドレッシング

ハイドロサイト◇ ジェントル 銀



目的

- 滲出液の吸収
- 適切な湿潤環境の提供
- 感染コントロール

特長

ポリウレタンフォームの吸収層に広い抗菌スペクトルを有するスルファジアジン銀 (SSD) が含有されています。滲出液と接触すると銀イオンが放出されて、抗菌効果を発揮します。感染のリスクの高い患者さまや汚染されやすい部位の創傷に適しています。

適用症例

仙骨や坐骨部など、排泄物で汚染される可能性がある部位の創傷。
糖尿病・化学療法・放射線療法など、易感染患者さまの創傷。

ハイドロサイト ジェントル 銀

シリコーンゲルによる粘着のため、ドレッシング交換時の剥離刺激を緩和し、脆弱な皮膚の患者さまにもご使用いただけます。ドレッシング材の周囲にテープがついた一体型のため、貼付も簡単です。

皮膚の保護・固定

褥瘡の状態



癬痕

発赤

目的

●保護

特長

用途に応じ、必要な長さに切って使える経済的なロールタイプのドレッシングです。

防水性・バクテリアバリアー機能により、外部からの水や排泄物、バクテリアの侵入を防ぎます。水蒸気透過性を有するため皮膚のムレを予防します。

また、脆弱な皮膚への剥離刺激を軽減するシリコーンゲル粘着剤を使用したタイプもございます。

用途

- ・摩擦からの皮膚の保護
- ・固定（創傷ドレッシング・ガーゼ・チューブ・カテーテル等）
- ・シャワー等の防水目的

使用上の注意

本品は未滅菌です。創傷部、穿刺部に直接貼付しないでください。

使用時は皮膚を清潔にし、十分に乾燥させた状態でご使用ください。

皮膚に油分や水分がある場合、粘着しにくい場合があります。

本品を引っ張って伸ばした状態で貼付すると皮膚に負担がかかり、発赤やはがれの原因となる可能性があります。

オブサイト® ジェントルロール （シリコーンゲル粘着剤）



オブサイト クイックロール



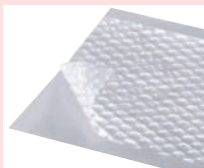
オブサイト クイックロール 2way



オプサイト[®] ジェントルロール

製品情報は
P.38参照

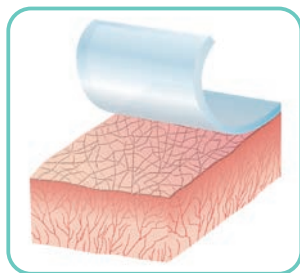
ポリウレタンフィルムに、シリコーンゲル粘着剤を採用したロールフィルムです。従来のアクリル系粘着剤に比べ角質剥離量が少なく、交換時の剥離刺激による疼痛やスキントラブルを軽減します。デリケートな皮膚にもご使用いただけます。



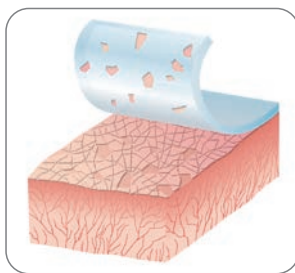
ドレッシング材やガーゼの固定に使用



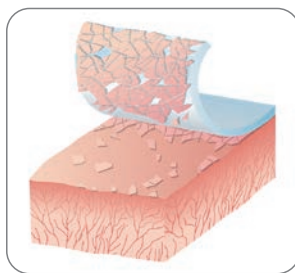
粘着剤の違いによる皮膚への影響



シリコーンゲル粘着剤により剥離時のズレ・摩擦の負担をさらに軽減します。



皮膚への影響が少ない一般的な粘着剤剥離時のイメージ図



従来のアクリル系粘着剤剥離時に角質が損傷したイメージ図

褥瘡処置に関する皮膚欠損用創傷被覆材の保険請求について

皮膚欠損用創傷被覆材は 特定保険医療材料*として保険請求が可能

ハイドロサイト[◇]等の皮膚欠損用創傷被覆材の『クラス分類』『保険適用』

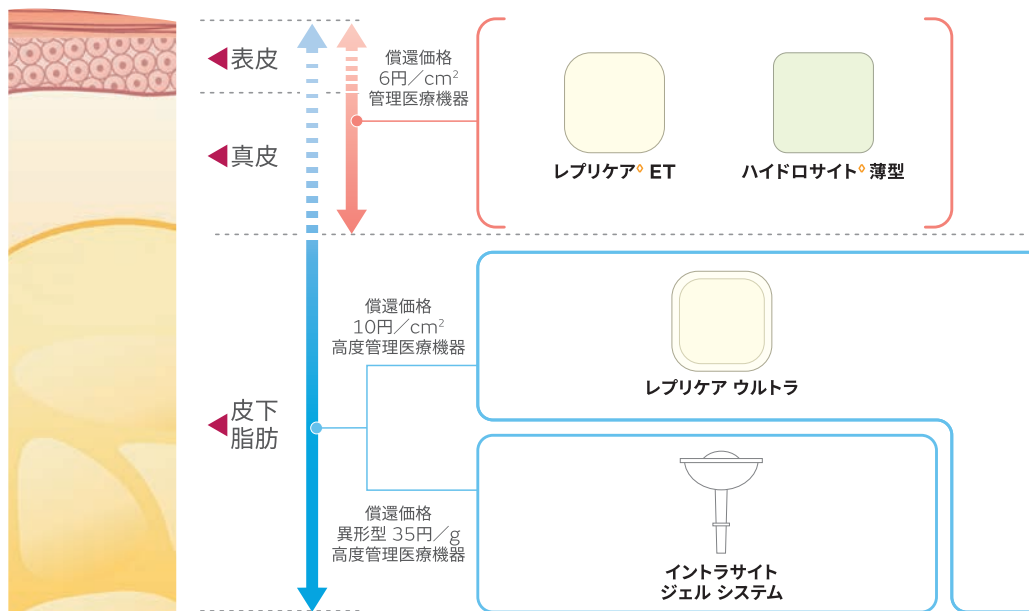
『保険償還価格』の区分は創傷の深さに応じて決められています。

*「皮膚欠損用創傷被覆材 皮下組織に至る創傷用」は高度管理医療機器に該当します。

*院外処方せんに基づき「皮膚欠損用創傷被覆材 皮下組織に至る創傷用」を支給する場合に限り、条件を満たす薬局は高度管理医療機器等販売業許可は必要ありません。（薬生機審発0510第1号（平成29年5月10日）「インスリン注射器等を交付する薬局にかかわる取扱いについて」の一部改正について（特定保険医療材料を交付する薬局の取扱いについて）より抜粋。詳細は通知をご確認ください。また運用に関しては各都道府県にお問い合わせ下さい。）

皮膚欠損用創傷被覆材区分

← 保険適用範囲 ← 薬機法上の適用範囲



適した創傷

渗出液量 ▶ 少

償還価格について

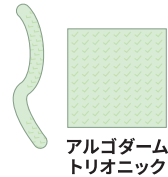
分野名	機能区分	償還価格	該当するスミス・アンド・ネフュー製品名
皮膚欠損用 創傷被覆材	(1) 真皮に至る創傷用	6円/cm ²	ハイドロサイト 薄型、レプリケア ET
	(2) 皮下組織に至る 創傷用	①標準型	ハイドロサイト ライフ ハイドロサイト プラス ハイドロサイト AD プラス ハイドロサイト AD ジェントル ハイドロサイト ジェントル 銀 アルゴダーム トリオニック レプリケア ウルトラ
		②異形型	イントラサイト ジェル システム
	(3) 筋・骨に至る創傷用	25円/cm ²	

(参考) 令和4年厚生労働省告示第58号

被覆材の種類

ポリウレタンフォーム

ファイバー



滲出液量 中～多



滲出液量 中～多



褥瘡処置に関する皮膚欠損用創傷被覆材の保険請求について

医療機関における保険算定

「皮膚欠損用創傷被覆材」は、手術・処置に使用した場合に、該当する技術料（手術・処置）とともに材料費を算定することが基本となります。

算定イメージ

①手術日当日、適用可能な深さの皮膚欠損層に使用（レセプト手術⑩に記載）

②処置とともに適用可能な深さの皮膚欠損層に使用（レセプト処置④に記載）

関係する告示および通知の抜粋を以下に記します。

特定保険医療材料の材料価格算定に関する留意事項について¹⁾

(101) 皮膚欠損用創傷被覆材

- (1)主として創面保護を目的とする被覆材の費用は、当該材料を使用する手技料の所定点数に含まれ、別に算定できない。

(2)皮膚欠損用創傷被覆材は、いずれも2週間を標準として、特に必要と認められる場合については3週間を限度として算定できる。また、同一部位に対し複数の創傷被覆材を用いた場合は、主たるものののみ算定する。

(3)皮膚欠損用創傷被覆材は、以下の場合には算定できない。

ア.手術縫合創に対して使用した場合

イ.真皮に至る創傷用を真皮に至る創傷又は熱傷以外に使用した場合

ウ.皮下組織に至る創傷用・標準型又は皮下組織に至る創傷用・異形型を皮下組織に至る創傷又は熱傷以外に使用した場合

エ.筋・骨に至る創傷用を筋・骨に至る創傷又は熱傷以外に使用した場合

補足1

オプサイト®、クイックロール等のポリウレタンフィルム類は、「皮膚欠損用創傷被覆材」ではないため保険算定はできません。

皮膚欠損用創傷被覆材が使用される処置および処置料の例²⁾

	範囲 包帯などで被覆すべき創傷面の広さ 又は軟膏処置を行うべき広さ（共通）	J000 創傷処置	J001 熱傷処置	J001-4 重度褥瘡処置 （1日につき）	J053 皮膚科軟膏 処置
1	100cm ² 未満	52点	135点	90点	—
2	100cm ² 以上～500cm ² 未満	60点	147点	98点	55点
3	500cm ² 以上～3,000cm ² 未満	90点	270点	150点	85点
4	3,000cm ² 以上～6,000cm ² 未満	160点	504点	280点	155点
5	6,000cm ² 以上	275点	1,500点	500点	270点

J000 創傷処置²⁾

- 注1) 1については、入院中の患者以外の患者及び手術後の患者（入院中の患者に限る。）についてのみ算定する。ただし、手術後の患者（入院中の患者に限る。）については手術日から起算して14日を限度として算定する。
- 注2) 区分番号C109に掲げる在宅寝たきり患者処置指導管理料、区分番号C112に掲げる在宅気管切開患者指導管理料又は区分番号C112-2に掲げる在宅喉頭摘出患者指導管理料を算定している患者に対して行った創傷処置（熱傷に対するものを除く。）の費用は算定しない。
- 注3) 5については、6歳未満の乳幼児の場合は、乳幼児加算として、55点を加算する。

- 留意事項³⁾**
- (1) 創傷処置、区分番号「J001」熱傷処置、区分番号「J001-4」重度褥瘡処置及び区分番号「J053」皮膚科軟膏処置の各号に示す範囲とは、包帯等で被覆すべき創傷面の広さ、又は軟膏処置を行うべき広さをいう。
 - (2) 同一疾病又はこれに起因する病変に対して創傷処置、皮膚科軟膏処置又は湿布処置が行われた場合は、それぞれの部位の処置面積を合算し、その合算した広さを、いずれかの処置に係る区分に照らして算定するものとし、併せて算定できない。
 - (3) 同一部位に対して創傷処置、皮膚科軟膏処置、面皰圧出法又は湿布処置が行われた場合はいずれか1つのみにより算定し、併せて算定できない。
 - (4) 区分番号「C109」在宅寝たきり患者処置指導管理料又は区分番号「C112」在宅気管切開患者指導管理料を算定している患者（これらに係る在宅療養指導管理材料加算、薬剤料又は特定保険医療材料料のみを算定している者を含み、入院中の患者を除く。）については、創傷処置（熱傷に対するものを除く。）、爪甲除去（麻酔を要しないもの）及び穿刺排膿後薬液注入の費用は算定できない。
 - (5) 手術後の患者に対する創傷処置は、その回数にかかわらず、1日につき所定の点数のみにより算定する。
 - (6) 複数の部位の手術後の創傷処置については、それぞれの部位の処置面積を合算し、その合算した広さに該当する点数により算定する。
 - (7) 中心静脈圧測定、静脈内注射、点滴注射、中心静脈注射及び植込型カテーテルによる中心静脈注射に係る穿刺部位のガーゼ交換等の処置料及び材料料は、別に算定できない。
 - (8) 軟膏の塗布又は湿布の貼付のみの処置では算定できない。

J001 熱傷処置²⁾

注1) 初回の処置を行った日から起算して2月を経過するまでに行われた場合に限り算定し、それ以降に行う当該処置については、区分番号J000に掲げる創傷処置の例により算定する。

注2) 1については、入院中の患者以外の患者及び手術後の患者（入院中の患者に限る。）についてののみ算定する。ただし、手術後の患者（入院中の患者に限る。）については手術日から起算して14日を限度として算定する。

注3) 1については、第1度熱傷の場合は第1章基本診療料に含まれ、算定できない。

注4) 4及び5については、6歳未満の乳幼児の場合は、乳幼児加算として、55点を加算する。

- 留意事項³⁾** (1) 熱傷処置を算定する場合は、創傷処置、爪甲除去（麻酔を要しないもの）及び穿刺排膿後薬液注入は**併せて算定できない**。
(2) 熱傷には電撃傷、薬傷及び凍傷が含まれる。
(3) 「1」については、第1度熱傷のみでは算定できない。

J001-4重度褥瘡処置（1日につき）²⁾

注1) 重度の褥瘡処置を必要とする患者に対して、初回の処置を行った日から起算して2月を経過するまでに行われた場合に限り算定し、それ以降に行う当該処置については、区分番号J000に掲げる創傷処置の例により算定する。

注2) 1については、入院中の患者以外の患者及び手術後の患者（入院中の患者に限る。）についてののみ算定する。ただし、手術後の患者（入院中の患者に限る。）については手術日から起算して14日を限度として算定する。

- 留意事項³⁾** (1) 皮下組織に至る褥瘡（筋肉、骨等に至る褥瘡を含む。）（DESIGN-R 分類 D3、D4 及び D5）に対して褥瘡処置を行った場合に算定する。
(2) 重度褥瘡処置を算定する場合は、創傷処置、爪甲除去（麻酔を要しないもの）及び穿刺排膿後薬液注入は**併せて算定できない**。

J053 皮膚科軟膏処置²⁾

注1) 100平方センチメートル未満の場合は、第1章基本診療料に含まれ、算定できない。

注2) 区分番号C109に掲げる在宅寝たきり患者処置指導管理料を算定している患者に対して行った皮膚科軟膏処置の費用は算定しない。

- 留意事項³⁾** (1) 区分番号「C109」在宅寝たきり患者処置指導管理料を算定している患者（これに係る薬剤料又は特定保険医療材料料のみを算定している者を含み、入院中の患者を除く。）については、皮膚科軟膏処置の費用は算定できない。
(2) 100 平方センチメートル未満の皮膚科軟膏処置は、第1章基本診療料に含まれるものであり、皮膚科軟膏処置を算定することはできない。

補足2

J100 副鼻腔手術後の処置（片側）

- 留意事項³⁾** 副鼻腔手術後の洗浄、ガーゼ交換等（手術日の翌日以降のものに限る。）を行った場合に算定する。この場合、創傷処置、爪甲除去（麻酔を要しないもの）及び穿刺排膿後薬液注入は**別に算定できない**。

褥瘡処置に関する皮膚欠損用創傷被覆材の保険請求について

在宅療養患者への供給方法

在宅療養中の患者であっても、以下の条件を満たせば保険制度を利用してハイドロサイト[◇]シリーズ^{*} を供給することができます。

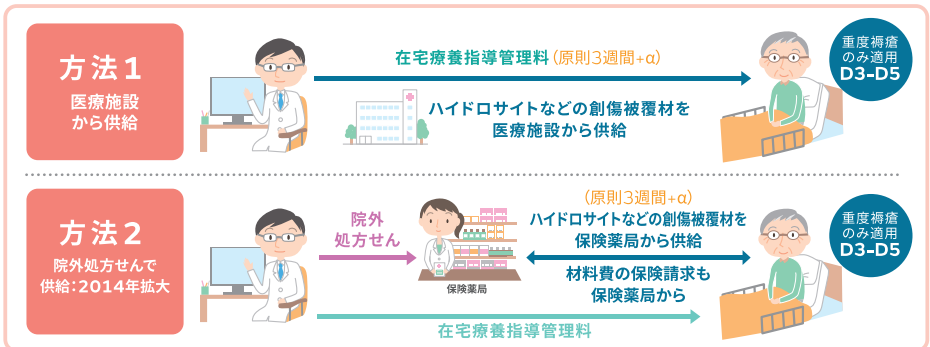
^{*} ハイドロサイト 薄型（真皮に至る創傷用）を除く

条件1 皮下組織に至る褥瘡（筋肉、骨等に至る褥瘡を含む）を有する在宅患者
＝（DESIGN-R[®] 分類 D3、D4 及び D5）を有する患者

条件2 医師がいずれかの在宅療養指導管理料を算定している患者

■ 区分番号「C114」在宅難治性皮膚疾患処置指導管理料を算定している患者以外に対して使用する場合は、いずれも原則として3週間を限度として算定する。それ以上の期間において算定が必要な場合には、診療報酬明細書の摘要欄に詳細な理由を記載する。

■ 在宅患者への保険による供給方法は次の2通りあります。



（参考）令和4年3月4日保医発0304第9号

在宅療養指導管理料

C100	退院前在宅療養指導管理料	C109	在宅寝たきり患者処置指導管理料
C101	在宅自己注射指導管理料	C110	在宅自己疼痛管理指導管理料
C101-2	在宅小児低血糖症患者指導管理料	C110-2	在宅振戦等刺激装置治療指導管理料
C101-3	在宅妊娠糖尿病患者指導管理料	C110-3	在宅迷走神経電気刺激治療指導管理料
C102	在宅自己腹膜灌流指導管理料	C110-4	在宅仙骨神経刺激療法指導管理料
C102-2	在宅血透透析指導管理料	C110-5	在宅舌下神経電気刺激療法指導管理料
C103	在宅酸素療法指導管理料	C111	在宅肺高血圧症患者指導管理料
C104	在宅中心静脈栄養法指導管理料	C112	在宅気管切開患者指導管理料
C105	在宅成分栄養経管栄養法指導管理料	C112-2	在宅喉頭摘出患者指導管理料
C105-2	在宅小児経管栄養法指導管理料	C114	在宅難治性皮膚疾患処置指導管理料
C105-3	在宅半固形栄養経管栄養法指導管理料	C116	在宅植込型補助人工心臓（非拍動型）指導管理料
C106	在宅自己導尿指導管理料	C117	在宅経腸投薬指導管理料
C107	在宅人工呼吸指導管理料	C118	在宅腫瘍治療電療法指導管理料
C107-2	在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料	C119	在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
C107-3	在宅ハイフローセラピー指導管理料	C120	在宅中耳加圧療法指導管理料
C108	在宅悪性腫瘍等患者指導管理料	C121	在宅抗菌薬吸入療法指導管理料
C108-2	在宅悪性腫瘍患者共同指導管理料		

（参考）令和4年厚生労働省告示第54号

褥瘡処置に関する皮膚欠損用創傷被覆材の保険請求について

院外処方せん および レセプトの記載例

参考

例:DESIGN-R®分類のD3の褥瘡を持つ患者に対し、いずれかの在宅療養指導管理料を算定し、**ハイドロサイト[®] ライフ12.9cm×12.9cm** (保険算定面積*7.6cm×7.6cm=57.76cm²)を3週間分として**10枚**処方する場合
オレンジ色で記載している(算定される在宅療養指導管理料、選択されるハイドロサイト)情報を必要に応じて変更して下さい。



■院外処方せんでハイドロサイトを支給する場合

院外処方せんの記入例：処方内容記載欄に下記の情報を記載

交付年月日	平成 年 月 日	処方せんの 使用 期 間	平成 年 月 日 (***** ***** *****)
処方 方	変更不可	***** ***** *****	
		ハイドロサイト ライフ 12.9cm×12.9cm (保険算定面積 57.76cm²) (在008 皮膚欠損用創傷被覆材皮下組織に 至る創傷用標準型 1cm² 10円) 10枚	
保険医署名		***** *****	

*処方されたハイドロサイトシリーズのサイズを保険薬局側に特定
して頂く為に一枚当たりの保険算定面積を記載されることを
お勧め致します。

レセプト(診療報酬明細書)の記入例：在宅医療の項目欄 その他に下記の情報を記載

⑭ 在宅 医療	往診 回 夜間 回 深夜・緊急 回 その他 ●●●● 薬剤	⑭ 摘 要 欄	いずれかの在宅療養指導管理料を算定 ●●●●×1 *原則3週間分ですが、それ以上を供給する際は摘要欄に 詳細な理由を記載する必要があります。

創傷被覆材は、保険薬局側がレセプト申請するので、この欄への供給分の記載は必要ありません。

■医療施設より訪問診療時等に直接、患者にハイドロサイトを支給する場合

レセプト(診療報酬明細書)の記入例：在宅医療の項目欄 その他に下記の情報を記載

⑭ 在宅 医療	往診 回 夜間 回 深夜・緊急 回 在宅患者訪問診療 その他 ●●●● 薬剤 580	⑭ 摘 要 欄	いずれかの在宅療養指導管理料を算定 ●●●●×1 ハイドロサイト ライフ 12.9cm×12.9cm (保険算定面積 57.76cm²) (在008 皮膚欠損用創傷被覆材皮下組織に至る 創傷用標準型 1cm² 10円) 10枚

レセプトの記載方法は令和4年3月25日保医発0325第1号を参考にしています。
在宅の項では、摘要欄に総支給量、総点数、名称との記載が必要です。
詳細は各都道府県へご確認ください。

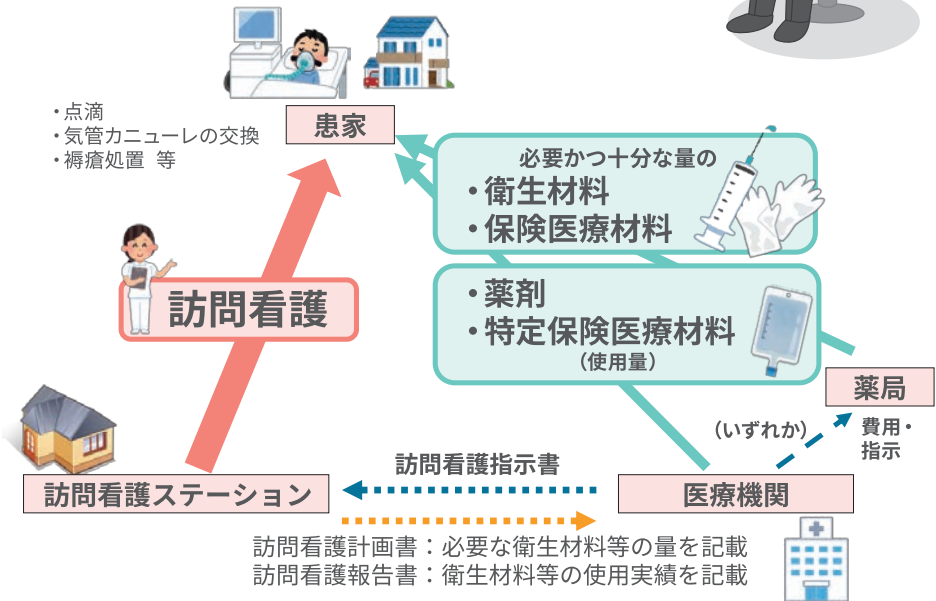
(参考)令和4年3月4日保医発0304第9号
令和4年3月25日保医発0325第1号

医師の指示に基づいた処置であれば、 診療日以外でも特定保険医療材料の 算定が可能

[条件]

主治医の診療日以外に、主治医の指示に基づき訪問看護師等が
薬剤及び特定保険医療材料を用いた処置を実施する場合は、

- ① 使用する薬剤及び特定保険医療材料は、患者の診療を担う保険医療機関が支給する。
- ② 支給した保険医療機関は、薬剤料及び特定保険医療材料料を算定できる。
- ③ 薬剤料等を算定した保険医療機関は、訪問看護報告書等に基づき、使用された日を明細書の摘要欄に記載する。



厚生労働省 平成28年度診療報酬改定説明(医科)

注釈) 上記は令和4年度診療報酬改定までの情報に基づき作成していますが、各地方自治体により解釈に違いがある可能性があります。
最終ご判断は、診療報酬に関する照会先にご確認をお願い致します。

保湿ローション セキューラ^oML

化粧品



価格:円

製品番号	容量 (mL)	数/箱	1本単価	標準価格/箱	箱/ケース
59433400	236	1本	1,380	1,380	2
66800015	60	1本	560	560	2

撥水性ジェル セキューラPO

化粧品



価格:円

製品番号	容量 (g)	数/箱	1本単価	標準価格/箱	箱/ケース
59431500	70	1本	1,840	1,840	2
59431600	159	1本	2,410	2,410	2

保湿クリーム セキューラDC

化粧品



価格:円

製品番号	容量 (g)	数/箱	1本単価	標準価格/箱	箱/ケース
59432200	114	1本	2,630	2,630	2

弱酸性洗浄料 セキューラCL

化粧品



価格:円

製品番号	容量 (mL)	数/箱	1本単価	標準価格/箱	箱/ケース
59430900	236	1本	1,900	1,900	2

非アルコール性被膜剤 セキューラ ノンアルコール 被膜 スプレー

(販売名:ノンアルコール スキンブレップ スプレー)
一般医療機器 液体包帯
届出番号:13B1X10222WC0014



価格:円

製品番号	容量 (mL)	数/箱	1本単価	標準価格/箱	箱/ケース
66800872	28	1本	2,020	2,020	12

非アルコール性被膜剤

セキュラ ノンアルコール 被膜

(販売名:ノンアルコール スキンブレップ)

一般医療機器 液体包帯

届出番号:13B1X10222WC0013



価格:円

製品番号	規格	数/箱	1本・1枚単価	標準価格/箱	箱/ケース
66800711	3mL/スティックタイプ	50本	213	10,640	4
66800787	3mL/スティックタイプ	5本	324	1,620	10
66800712	1mL/ナプキンタイプ	50枚	123	6,160	1

褥瘡・皮膚潰瘍治療剤 医薬品

カデックス◇軟膏0.9%

ヨウ素含有軟膏

承認番号:21300AMY00072000



薬価基準収載

製品番号	容量(g)	本/箱	箱/ケース
66390186	40	1本	1
66803090	100	1本	1

日本標準商品分類番号:872699

褥瘡・皮膚潰瘍治療剤 医薬品

カデックス 軟膏分包45mg、153mg

カデックス 軟膏分包45mg ヨウ素含有軟膏

承認番号:22100AMX00241000

カデックス 軟膏分包153mg ヨウ素含有軟膏

承認番号:22100AMX00243000



薬価基準収載

〈カデックス 軟膏分包45mg〉			
製品番号	容量(g/枚)	枚/箱	箱/ケース
66800053	5	10枚	1

日本標準商品分類番号:872699

〈カデックス 軟膏分包153mg〉			
製品番号	容量(g/枚)	枚/箱	箱/ケース
66800055	17	3枚	1

日本標準商品分類番号:872699

アルギン酸カルシウム含有ドレッシング
アルゴダーム トリオニック

高度管理医療機器
承認番号:22500BZI00009A02



価格:円

製品番号	サイズ(cm)	タイプ	保険算定面積 (cm ²)	枚/箱	償還価格/枚	参考償還価格/箱	箱/ケース
66929362	5×5	シートタイプ	25	10	250	2,500	1
66929361	9.5×9.5	シートタイプ	90.25	10	902.5	9,025	1
66929360	10×20	シートタイプ	200	10	2,000	20,000	1
66929363	30cm,2g	ローブタイプ	158	6	1,580	9,480	1

製造元:Les Laboratoires Brothier(France)

アルゴダームトリオニック®は、Les Laboratoires Brothierの登録商標です。

皮膚欠損用創傷被覆材 (2) 皮下組織に至る創傷用①標準型 10円/cm²

シリコーンゲル粘着
親水性ポリウレタンフォームドレッシング
ハイドロサイト◇ ライフ

高度管理医療機器
承認番号:22600BZX00209000



価格:円

〈標準型〉

製品番号	サイズ(cm)	パッド部サイズ(cm)	保険算定面積 (cm ²)	枚/箱	償還価格/枚	参考償還価格/箱	箱/ケース
66391068	12.9×12.9	7.6×7.6	57.76	10	577.6	5,776	1
66391069	15.4×15.4	10.2×10.2	104.04	10	1,040.4	10,404	1
66391070	21×21	15.4×15.4	237.16	10	2,371.6	23,716	1

皮膚欠損用創傷被覆材 (2) 皮下組織に至る創傷用①標準型 10円/cm²

〈仙骨用〉

価格:円

製品番号	サイズ(cm)	パッド部サイズ(cm)	保険算定面積 (cm ²)	枚/箱	償還価格/枚	参考償還価格/箱	箱/ケース
66391306	17.2×17.5	—	96.33	10	963.3	9,633	1
66391307	21.6×23	—	182.25	10	1,822.5	18,225	1

皮膚欠損用創傷被覆材 (2) 皮下組織に至る創傷用①標準型 10円/cm²

〈ヒール用〉

価格:円

製品番号	サイズ(cm)	パッド部サイズ(cm)	保険算定面積 (cm ²)	枚/箱	償還価格/枚	参考償還価格/箱	箱/ケース
66391304	25×25.2	—	242.73	5	2,427.3	12,137	1

皮膚欠損用創傷被覆材 (2) 皮下組織に至る創傷用①標準型 10円/cm²

シリコーンゲル粘着抗菌性
親水性ポリウレタンフォームドレッシング
ハイドロサイト ジェントル 銀

高度管理医療機器
承認番号22500BZX00409000



価格:円

製品番号	サイズ(cm)	パッド部サイズ(cm)	保険算定面積 (cm ²)	枚/箱	償還価格/枚	参考償還価格/箱	箱/ケース
66801380	7.5×7.5	5×5	25	10	250	2,500	1
66801381	10×10	7.5×7.5	56.25	10	562.5	5,625	1
66801382	12.5×12.5	10×10	100	10	1,000	10,000	1
66801383	17.5×17.5	15×15	225	10	2,250	22,500	1

皮膚欠損用創傷被覆材 (2) 皮下組織に至る創傷用①標準型 10円/cm²

親水性ポリウレタンフォームドレッシング
ハイドロサイト プラス

高度管理医療機器
 承認番号:22100BZX01097000



価格:円

製品番号	サイズ(cm)	保険算定面積 (cm ²)	枚/箱	償還価格/枚	参考償還価格/箱	箱/ケース
66800678	5×5	25	10	250	2,500	1
66800679	10×10	100	10	1,000	10,000	1
66800681	10×20	200	10	2,000	20,000	1
66800682	20×20	400	10	4,000	40,000	1
66800686	5×5	25	3	250	750	1
66800687	10×10	100	3	1,000	3,000	1
66000663JA	40×70	2,800	1巻	28,000	28,000	1

皮膚欠損用創傷被覆材 (2) 皮下組織に至る創傷用①標準型 10円/cm²

〈ヒールタイプ〉

価格:円

製品番号	サイズ(cm)	保険算定面積 (cm ²)	枚/箱	償還価格/枚	参考償還価格/箱	箱/ケース
66800684	13.5×10.5※	141.75	5	1,417.5	7,088	1
66800691	13.5×10.5※	141.75	3	1,417.5	4,253	1

※折りたたんだ長径と短径 (cm)

皮膚欠損用創傷被覆材 (2) 皮下組織に至る創傷用①標準型 10円/cm²

アクリル粘着親水性ポリウレタンフォームドレッシング
ハイドロサイト AD プラス

高度管理医療機器
 承認番号:22100BZX01096000



価格:円

製品番号	サイズ(cm)	パッド部サイズ (cm)	保険算定面積 (cm ²)	枚/箱	償還価格/枚	参考償還価格/箱	箱/ケース
66800674	7.5×7.5	5×5	25	10	250	2,500	1
66800675	12.5×12.5	10×10	100	10	1,000	10,000	1
66800688	7.5×7.5	5×5	25	3	250	750	1
66800689	12.5×12.5	10×10	100	3	1,000	3,000	1

皮膚欠損用創傷被覆材 (2) 皮下組織に至る創傷用①標準型 10円/cm²

シリコンゲル粘着
親水性ポリウレタンフォームドレッシング
ハイドロサイト[◇] AD ジェントル

高度管理医療機器
承認番号:22100BZX00942000



価格:円

製品番号	サイズ (cm)	パッド部サイズ (cm)	保険算定面積 (c㎡)	枚/箱	償還価格/枚	参考償還価格/箱	箱/ケース
66800538	7.5×7.5	5×5	25	10	250	2,500	1
66800539	10×10	7.5×7.5	56.25	10	562.5	5,625	1
66800540	12.5×12.5	10×10	100	10	1,000	10,000	1
66800541	17.5×17.5	15×15	225	10	2,250	22,500	1
66800900	10×20	7×17	119	10	1,190	11,900	1

皮膚欠損用創傷被覆材 (2) 皮下組織に至る創傷用①標準型 10円/c㎡

〈凹凸のある部位用〉

価格:円

製品番号	サイズ (cm)	保険算定面積 (c㎡)	枚/箱	償還価格/枚	参考償還価格/箱	箱/ケース
66800959	17.1×17.9 (マルチサイト)	99.94	10	999.4	9,994	1

皮膚欠損用創傷被覆材 (2) 皮下組織に至る創傷用①標準型 10円/c㎡

〈仙骨用〉

価格:円

製品番号	サイズ (cm)	保険算定面積 (c㎡)	枚/箱	償還価格/枚	参考償還価格/箱	箱/ケース
66800898	17.1×16.8 (仙骨用小)	96.33	10	963.3	9,633	1
66801031	21.6×23 (仙骨用大)	182	10	1,820	18,200	1

皮膚欠損用創傷被覆材 (2) 皮下組織に至る創傷用①標準型 10円/c㎡

自着性ポリウレタンフォームドレッシング

ハイドロサイト 薄型

管理医療機器
承認番号:21900BZX00491000



価格:円

製品番号	サイズ (cm)	保険算定面積 (c㎡)	枚/箱	償還価格/枚	参考償還価格/箱	箱/ケース
66390877	5×6	30	3	180	540	1
66390872	5×6	30	10	180	1,800	1
66390876	10×10	100	3	600	1,800	1
66390873	10×10	100	5	600	3,000	1
66390875	15×15	225	3	1,350	4,050	1
66390874	15×20	300	3	1,800	5,400	1

皮膚欠損用創傷被覆材 (1) 真皮に至る創傷用 6円/c㎡

透明ハイドロコロイドドレッシング

レプリケア[◇] ET

管理医療機器
認証番号:226ADBZX00164000



価格:円

製品番号	サイズ (cm)	保険算定面積 (c㎡)	枚/箱	償還価格/枚	参考償還価格/箱	箱/ケース
66801612	5 × 7	35	10	210	2,100	1
66801615	10×10	100	10	600	6,000	1

皮膚欠損用創傷被覆材 (1) 真皮に至る創傷用 6円/c㎡

ハイドロコロイドドレッシング レプリケア◇ウルトラ

高度管理医療機器
承認番号:22600BX00539000



価格:円

製品番号	サイズ (cm)	保険算定面積 (c㎡)	枚/箱	償還価格/枚	参考償還価格/箱	箱/ケース
66000434	10×10	100	10	1,000	10,000	1

皮膚欠損用創傷被覆材 (2) 皮下組織に至る創傷用①標準型 10円/c㎡

トランスペアレント シリコンゲル粘着 フィルムロール

オブサイト◇ジェントルロール

衛生材料



価格:円

製品番号	サイズ (cm)	巻/箱	1巻単価	標準価格/箱	箱/ケース
66801195	2.5×500	1	1,900	1,900	1
66801196	5×500	1	3,700	3,700	1
66801197	10×500	1	4,370	4,370	1

トランスペアレント フィルムロール

オブサイト クイックロール

衛生材料



価格:円

製品番号	サイズ (cm)	巻/箱	1巻単価	標準価格/箱	箱/ケース
66000960	5×300	1	1,710	1,710	1
66000961	10×300	1	3,430	3,430	1

トランスペアレント フィルムロール

オブサイト クイックロール 2way

衛生材料

価格:円

製品番号	サイズ (cm)	巻/箱	1巻単価	標準価格/箱	箱/ケース
66800339	5×1,200	1	3,430	3,430	1
66800340	10×1,200	1	5,950	5,950	1
66800341	15×1,200	1	8,000	8,000	1

医薬品及び医療機器の使用にあたっては、添付文書をよく読み、用法及び用量／使用方法、適用上の注意／使用上の注意を守って正しくお使いください。

薬価及び償還価格を除く標準価格には別途消費税が加算されます。
単価については、小数点以下は四捨五入して表記しております。

スミス・アンド・ネフュー株式会社 ウンドマネジメント事業部

〒105-5114 東京都港区浜松町二丁目4番1号
TEL.03-5403-8830

札幌営業所 TEL.011-736-9596
仙台営業所 TEL.022-276-6726
東京営業所 TEL.03-5403-8915
名古屋営業所 TEL.052-221-1407
大阪営業所 TEL.06-6399-3303
広島営業所 TEL.082-502-7322
福岡営業所 TEL.092-452-0142

<https://www.smith-nephew.com/ja-jp>

◦Trademark of Smith+Nephew
DESIGN-R® は日本褥瘡学会の登録商標です。
© 2008-2023 Smith+Nephew

GS-21
202401-9